

## 新年のご挨拶 課題にチャレンジして更なる飛躍の年に！ 代表理事 福田 哲郎



新年あけましておめでとうございます。念頭にあたり、日頃より当会の活動にご支援頂いております足立区、生涯学習センター、顧問の先生方、賛助会員、事業講師の皆様にご感謝申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

楽学の会は平成8年に足立区生涯学習ボランティア養成セミナーの受講修了者有志20余名で発足以来23年目に入りNPO法人設立以来5月で15周年を迎えます。

また区民が学ぶ・教える・創る「あだち区民大学塾」は平成16年より講座を提供して14年を経て区民の皆様にご定着してきており毎回多数の受講者が参加頂いており、提供講座累計は208講座、受講者は延べ19,000人を超えました。

取り巻く環境も変化してきており、区民のニーズも変化してきておりますが、事業継続にむけて会員の皆様と協力して、新たな課題にチャレンジして更なる飛

躍の年になるようにしたいと思います。

### 平成29年を振り返り、今年の抱負を述べます。

#### あだち区民大学塾

区民ニーズを反映した講座を企画し、歴史、文学、生活、健康、経済、芸術、足立区関連等の分野の講座を提供しており、29年度講座は18講座予定です。特に29年8月には足立区との協創企画の特別講演会「浮世絵で知る「美人画」の魅力」は郷土博物館の浮世絵展と連携し、足立区、足立区教育委員会、郷土博物館、生涯学習センターと楽学の会の5者共催で開催し、97名の受講者があり盛況で受講者より高い評価を頂きました。

また定員を超えた講座が多く、延べ受講者100名を超えた講座は日本経済入門2017、中世絵巻物を読み解く、宮沢賢治の世界、四書五経の講座、近世江戸歴史入門講座、上野彰義隊の顛末、江戸はスゴイ講座、ワインの魅力の8講座でした。これは講座企画のよさが評価いただいたと思います。

講座企画は会員のネットワークを活かして新しい分野の講座を開拓して参ります。

30年度も足立区関連講座を企画・開発し区民の皆様にあだちの魅力を知って頂く様にしていきたいと思っております。

#### 生涯学習センターよりの受託事業

平成29年は「心と体の健康講座」シリーズとして「健康心理学」講座、「体内時計と健康」講座の2講座を提供し多数の受講者がありこの分野への関心の高さを感じました。今後も心と体の健康講座のシリーズ講座を企画、提供していきたいと思っております。

#### 生涯学習関連NPO、団体と連携、交流

平成29年11月に都内の社会教育主事の方の会「学びのクリエイターになる！」実行委員会との交流会を実施しました。他の区、市との交流会は相互に情報交換ができ大変参考になりました。今後も他団体との交流を深めていき我々のスキルアップに繋げていきたいと考えます。

#### ④広報の重要性

広報も重要であり、情報発信ルートも多様化してきていますが一層の多様化を図っていきます。本年が皆様にとって素晴らしい年になるよう祈念いたします。

# 新年のご挨拶 各部署長が語る新年の抱負！ 学習支援部・ボランティア活動推進部・広報部・事務局

## 学習支援部 部長 佐々木善光 着実に、そして更なる充実に向けて

学習支援部は講座検討会議と講座企画会議の開催・審議、議事録の生涯学習センター報告、あだち広報原稿作成、地域交換便へのチラシ封入等多くの活動がありますが、会員の皆様のご協力でつつがなく終えることができた昨年でした。また、講座情報も毎月呼びかけをしまして収集に力を入れました。本年も部会の役割を着実にしつつ、講座開講に寄与して参る所存です。本年も「区民の学び集う喜び」に繋がることを楽しみに活動していきたいと思っております。皆様のご支援とご協力を賜りながら精一杯努力して参りますので、宜しくお願い致します。



## ボランティア活動推進部 部長 篠原 英也 2018年に向けて



明けましておめでとうございます。昨年は月例会にて会員のスキルアップのための研修会や親睦を目的とした街歩き、ハイキングを実施し、会員のコミュニケーションを図ることができました。今年も皆様のご意見をお聞きしながら会員が「楽しく学べる」月例会の充実を図っていききたいと思います。また、念願であった新規会員が入会されました。更なる当会の発展のためにも引き続き新規会員の開拓に注力致します。今年もよろしくお願いいたします。

## 広報部 部長 金子勝治 今後の広報のあり方を問う《 Public Relations 》 新年あけましておめでとうございます。

主に会員向けの広報紙として発行されてきた「楽学ニュース」も今やホームページを通して全国にも広く当会の事業内容の情報発信を行って居ります。近年ではその広報力が多方面より好評価されつつあり当会の運営の原動力にもなって来ています。

今後の広報のあり方を形成するためには今までの「お知らせ型」発信のあり方から会員・読者とのコミュニケーションツールとしての「対話型」へと幅広い変革も期待されて来ます。

様々な情報の収集活動を今後展開してより質の高い情報を発信、その発信する情報が多方面の方たちより求められる情報になればと願います。スタッフ一同が一丸となり日々研鑽して参ります。（情報提供者は会員一人ひとりの貴方です。幅広い情報提供をお待ち致しております）



## 事務局長 江川武男 明けましておめでとうございます



楽学の会も、今年でNPO設立15周年を迎えることとなります。これも諸先輩・皆様方の努力の賜物であると思っております。これからもボランティア精神を忘れずに、会員みんなで和気あいあいと、楽しみながら会を繁栄させていこうではありませんか。皆様にとりまして、今年が昨年よりさらに良い年でありますように！！



# 平成 29 年度 センター受託講座 開催報告

## 「心と体の健康講座」シリーズ 体内時計と健康

11月25日(土)、12月2日(土)午後2時～4時、生涯学習センター 研修室4にて開催された。  
定員30名に対し受講者28名、延べ受講者50名が受講されました。

今年度のノーベル賞の医学・生理学賞に「体内時計・時計遺伝子のメカニズム」が受賞し、講座直前のニュースに興味深く講義が始まりました。

### (1) 第1回テーマ：健康な脳を維持する仕組み ～時間生物学～



講師：石田直理雄氏（公益財団法人 国際科学振興財団 時間生物学研究所長）  
第1回目は生活習慣と体内時計の乱れから生ずる様々な障害について実験・研究内容についての専門的な説明がありました。体内で動く日周期リズムがあり病気の起こりやすい時刻があり、心筋梗塞は朝方、ガンは夕方、肥満は夜に発生する。また薬の投与時間で副作用の起こる時間帯で効果が違うことで抗ガン剤の投与時間も考慮すること、体内時計を狂わすことによる癌や心筋梗塞の因果関係など興味深い話でした。最新の研究成果を実験データによる講義で専門的であった。

### (2) 第2回テーマ：体内時計と食事摂取の関係 ～時間栄養学～

講師：柴田重信氏（早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授）

まずは「体内時計」とは何か？生体に周期的変動をもたらす仕組みである。体内時計を狂わす原因として何があるか、正常な体内時計のためにどのような生活習慣でなければならないかを学びました。体内時計を乱さないで健康維持のため、日常生活の中で「いつ何をどの程度食べるか」が重要である。特に朝が大切で、朝は太陽に当たり、朝食を摂ることが体内時計を元に戻し健康な生活を送れる。また夜型生活は良くなく、夜遅い食事は肥満を招く、夕食が遅くなる人は夕方の分食が望ましい。これからの日常生活にすぐに取り入れられる有意義な内容の講義でした。



(篠原英也)

## 平成 29 年度 大学塾第3ステージ開催報告

### 江戸はスゴイ 世界一幸せな人々の浮世ぐらし

11月5・26日(各日曜日)梅田地域学習センター(エルソフィア)3階の第1学習室において講師に”お江戸ル・ホーリー”こと堀口菜純さんを講師にお迎えし開催した。受講者は述べ100名でした。

第1回目は、食文化～蕎麦、寿司、天麩羅。世界にほこる和食の原点は江戸にあり～



第2回目は、娯楽～歌舞伎、吉原から寺社参拝まで、八百八町の楽しみ色々～

と題して浮世絵や版本など江戸人によって描かれた絵画史料により分かりやすく説明、解説された。最初に明暦3年(1657年)江戸の明暦の大火の消失時期、地域、などを現した地図をベースに、2回目は今戸箕輪浅草図会により浅草寺を中心とした西の市の行列など浮世絵により説明、解説がおこなわれた。

浮世絵というと遊女の顔写真を思い出すが、その顔の目、鼻、口元の違いがあるのを改めて意識するほどの細かな解説であった。

受講生からも浮世絵の見方に興味がわいた。改めて江戸の良さがわかり、益々江戸時代にとっても興味がわいて楽しい講座でした。

来年度も是非堀口講師の話の伺いたいなど好評であった。



(佐久間實)

## 足立の仏師・渡邊宗雲の創作と東博の仏像解説



12月1日（金）・7日（木）2日間の講座は応募者 57 名、受講者 49 名、延べ 90 名でした。予定より大勢の応募者があったため、1 回目は生涯学習センターの協力を得て、5 階研修室から 4 階講堂へ変更して応募者全員の受講を可能としました。

1 回目の講座は仏師・渡邊宗雲の修行と創作活動で父・渡邊宗雲の後を継ぐために修業に明け暮れた話がありました。東京造形大学の先生の元へ通い、卒業後足立区の仏師で高村光雲の流れをくむ真海徳太郎先生との出会い、浅草の仏師西村房蔵先生への師事など、教えを乞いに積極的に活動されました。

手板の地紋彫刻を半年間も根気よく彫った話、レリーフのハイビスカスと桃は高村光雲門下の決められた習作であるなど、裏の話も聞かせていただきました。

仏像彫刻は崇拜の対象としてあるので、作者の個性は感じられないようにしているといひます。また、仏像は一木づくりと寄木づくりがありますが、仏像の根則があり、

立像は 10 分割、座像は 5 分割になっているそうです。粘土で原形を作り、粗彫りから内削り（ひび割れ防止）仕上げ彫りまで仏像によっては何年もかかって彫刻されているとのことでした。

講堂に講師の創作された大日如来像、仏像 4 体、修業時代の習作手板、仏像習作、木の見本、さまざまな彫刻刀、紹介本などがたくさん展示されました。特に大きな大日如来像は迫力があり、受講者はすぐそばで前から後ろから眺めて、一様に感心されておりました。

2 回目は東京国立博物館の仏像解説と東洋館ガイドツアー『仏像の旅』（現地学習）で、前半は現地の仏像を見ながら講師に仏像の名称、作者、時代など一体ごとに詳細な説明があり、受講者は説明を聞きながら奈良、平安、鎌倉時代の仏像に見入っていました。後半は東洋館でボランティアガイドによる専門的な説明があり、インド、タイ、中国等の石像に圧倒されました。

受講者からは講師のおだやかな語り口と作品からおごりのない真摯な姿がすばらしい。仏像のしくみや制作過程がよくわかり、初めて知ることばかりで興味深かった。彫刻の技術のすごさに感嘆した。作品を身近に見せて頂き仏像の高貴な姿に思わず合掌したなどでした。

新しい分野でしたが足立区内で活躍される仏師の講座は、受講者にとっても好評でシリーズ化してほしいという要望もありました。



（林 令子）

## 素敵なワインの魅力 ～美味しいワインを愉しむ～



12月5日・12日（各火曜日）午後 2 時 30 分～4 時 30 分、講師に羽鳥敏彦氏（アサヒビール（株）品質保証部 お客様相談室 副部長）を迎え 2 回講座が講堂で開催された。受講者は延べ人数 118 名が受講された。

1 回目は「日本におけるワインの歴史」についての話。宣教師によって献上された「珍陀酒」という赤い酒、明治維新前は日本でワインが造られた確かな事実が見つけられず、昭和初期にかけて北海道・山梨・大阪・兵庫・福岡などのブドウ産地が官民によって形成され、1890 年に日本の気候土に合ったブドウの品種を新潟のブドウ園で改良、1927 年に 40 年かけて「マスカットベリー A が誕生したこと。また日本人は“ワインは甘いもの”というイメージがあり、渋さ・酸味・えぐみは日本人には苦手

のようだった。1907 年に甘味果実酒としてワインが成功し“美味しくなったワイン”が誕生したと話された。当日は会場内が寒くひざ掛けをセンターからお借りするなど、講師の配慮で試飲を早めにして頂き、講話を聞きながらの試飲で少し体が暖まったようでホットしました。

2 回目は、1 回目の質問に対し講師が「先週のつづき」ということで、より詳しくデータでの補足説明を頂きました。「国産ワイン」が造られるようになったのは、使ってはいけない添加物が使用されていたことから、ブドウを限定していないが、輸入したブドウや、濃縮果汁を原料に利用、加工（ジュースに戻してからワインにする方法）して、国内でワインを造ることで「国産ワイン」として認められ、安心・安全でワインを愉しむことが出来るようになったこと。また「日本ワイン」は国の地域で採れたブドウを 85% 以上使用するように国の規定があり、ブドウの収穫が少ない日本では産地名を付けるのは難しいという話をされた。

2 回目の試飲も味・色など確認しながら愉しんでいただけだと思ひます。グラスに入れたワインを軽くゆすって、酸素に触れさせると“ワインの香りが愉しめる”ようです。また、国産ワインは“コク”があるので「和食に合う」ように出来ている、料理にも活用できると話された。最後に、今後もワインを愉しんでいただければとの思いで「今までにない内容の講座」というかたちにしましたと話され講座を終了した。出口でアンケートを回収、多くの受講者から「ワイン歴史を学べてよかった」などの好評価を頂きました。



（田中桂子）



## シアター1010 での当会出展 PR 活動報告

11月18日(土)午後1時から、北千住マルイ 11階ギャラリーに於いて「地域医療研究会市民講座」併設展示ブースで「楽学の会」のPR活動を行った。

今回のPR展示の経緯は、足立区糖尿病患者の会・ADMS(アダムス)の会長を永年受け持ち、その関係で、掛かりつけの病院長より「今度の北千住で開催される、市民講座で「楽学の会」のPRしたらどう？」と言って頂いた次第である。佐久間さん、岡田さんと一緒に、この機会を生かして当会をPRすることが出来て本当に良かった。あだち区民大学塾の状況、当会の活動状況のポスター、紹介チラシもビジュアルで説得力、アピール力があり、来場者には熱心に興味を示して頂いた。

<木村繁先生との出会い>：隣のブースにまさか平成19年度に「鷗外のぶらり散歩」「あだちの宝物・五色桜物語」の講師の木村繁先生が出展されているとは！。先生もしっかり覚えておられた。

(田中国弘)



## みんなの広場

### 泉岳寺の義士祭に参加

12月14日は赤穂義士の吉良邸討入の日です。高輪の泉岳寺では義士祭が行われ、そのクライマックスは義士行列の到着です。その行列に参加しましたのでご紹介します。行列装具を身に着け12:00に中央区役所で出発式。歌舞伎座・増上寺を経て、札ノ辻交差点からは車道を通行止めにしてパレードが開始。15:00泉岳寺山門手前から、まるで大相撲の優勝パレードのように拍手がわき、境内は立錐の余地がなく大勢の人たちの声援に迎えられ、「ご苦労様」と声がかかります。一瞬、自分が討入をして本懐を遂げたような、映画スターになったような錯覚にとらわれます。

(糸井史郎)



増上寺境内にて



## 平成 29 年 12 月 忘年会 報告 (12 月 22 日)



12 月 22 日講座検討会議の終了後、会員の忘年会を開催しました。

今年の忘年会もボランティア活動推進部が幹事を担当し、年間行事の一環として開催させていただきました。女性 4 名を含め総勢 18 名の方に参加いただき、お馴染みの大衆酒蔵「日本海」北千住店にて午後 6 時を少し過ぎ開始しました。先ず福田代表理事から今年度も 18 講座が無事終了する見通しであり、活動に対するねぎらいと、新規会員の加入と活躍に感謝しているとのご挨拶をいただき、引き続き江川常務理事のご発声で乾杯し、宴会が始まりました。月々の定例会議

終了後の懇親会ではお目に係れない女性会員にも加わっていただき華やかな忘年会になりました。まずはビールと豪華料理でお腹が満たされて、調子が上がり、あちこちで会話が盛り上がってきました。そのうちに焼酎の水割りに代わり、和やかにこの一年の活動を振り返りながら、大いに懇親を深める機会となったのではないかと思います。あっという間に予定の時間を 30 分程オーバーし、お開きの時間となってしまい、広報部 金子部長の「三三七拍子」の中締めで解散となりました。楽学の会の益々の発展を願い、来年が良い年でありますよう心よりお祈りしています。

(ボランティア活動推進部 篠原英也)



### NPO 法人 八王子生涯学習コーディネーター会会報の紹介

ゆうゆうがくしゅう  
**悠々楽習** 第 39 号

八王子生涯学習コーディネーター会より会報誌「悠々楽習 39 号」を送付いただきました。大学塾事務局のロッカーに保管しておりますのでごらんください。

## 12月 運営委員会報告（12月4日）

### 1. 代表挨拶：報告および提案

- ・今年も早いものであっという間に師走となりました。  
あだち区民大学塾は会員各位のご協力で11月で14講座が終了しました。順調に推移してきており受講者も多く盛況で満足頂いております。今年度は18講座を提供予定ですので引き続きよろしく御願いたします。そして30年度の講座を検討していますが、積極的に講座提案をお願いいたします。
- ・センターよりの受託事業については「心と体の健康講座」シリーズとして今年度2講座を提供しました。「健康心理学」9～10月開催講座に続き「体内時計と健康」講座は11/25、12/2土曜日昼間2回講座を開催しました。体内時計、時計遺伝子が今年度のノーベル賞 医学・生理学賞を受賞しタイミングよい講座となりました。定員30名に対し受講者は28名で延べ受講者は50名幅広い年齢層が受講され、体内時計のしくみを知ることで健康になることを知り、受講者も満足されました。
- ・11/4（土）には都内の社会教育主事の講座「学びのクリエイターになる」受講生6名との交流会を開催いたします。当会より楽学の会の活動紹介を行い、有意義な意見交換、交流会となりました。主な質疑は講座検討への行政の関与はあるか、補助金はないのか、事務所の確保について等でした。事務局の高井様は足立区の社会教育主事として活躍され、楽学の会、あだち区民大学塾の立上げにご尽力いただきまして現在、立教大学の特任准教授されていますが高井様よりコメント頂きました。講座実施までのきめ細かな仕組みを始め、しっかりとした組織体制、何よりも皆様の意欲の高さに触れさせていただき、本当にありがとうございました。どのように制度や仕組みがあったとしてもそれに関わる方々の想いの在り様が、活動の活性化の成否を握ると思いました。

### 2. 議事

#### (1) 情報交換

- ・シアター1010 ギャラリー 当会のPRをする 11/18 PM開催、 田中(国)、佐久間、岡田 足立区糖尿病患者の会(足立ADMS)が主催
- ・「学びのクリエイターになる」実行委員会との交流会 11/4 2時～4時半 開催 先方6名、当会8名
- ・NPO意見交換会「超高齢社会」あなたの団体がきっと変わる 12/16 2時～4時 エルソフィア
- ・「平成29年度地域教育力を高めるボランティアセミナー及び教育研究公開シンポジウム」 3/8日 12:30～ 3/9日 9:00～ 放送大学東京文京学習センター(茗荷谷) 参加希望者は、事務局まで

#### (2) 月例会開催について

- ・12月月例会 12/22 忘年会 PM6時～ 於「日本海」
- ・11月親睦ハイキング報告(楽学ニュース参照)

#### (3) あだち区民大学塾(検討会議・企画会議)

- ・「江戸はスゴイ」11/5 26 応募者65名 1回55名 2回45名 受講者56名
- ・「足立の仏師」 12/1 7 2時～4時、東博10時～12時開催 応募者57名 1回目48名 行事保険(49+12+1計62名)加入済、運営ボラの東博の入場料は会の負担とする
- ・「ワインの魅力」12/5 12(火)2時半～4時半開催 講堂 応募者70名

#### (4) 受託事業について

- ・「体内時計」応募者33名 受講者28名、第1回11/25 27名 第2回12/2 23名 センターへ請求書 準備出来しだい提出

#### (5) 各部局・PTからの報告および提案(省略)



## 生涯学習センター 講座情報

講座名：もっと知りたい

「日本百名城の魅力」

日時：2月2日 金曜日

午後6時30分～8時30分

対象：16歳以上の方

会場：生涯学習センター 5階 研修室1

入場料：500円（一律）

定員：50名（事前申込先着順）

講師：萩原 さちこ氏（城郭ライター、編集者）

内容：戦いのためにつくられた建造物に備わっている芸術的な美しさ、お城にまつわる歴史的なロマン。日本の百名城より、お城の魅力をお伝えします！

講座名：芭蕉・蕪村の俳諧から

子規の俳句へ

日時：2月4日・11日・18日 毎週日曜日

午後2時～3時30分 3日制

対象：16歳以上の方

会場：生涯学習センター 5階 研修室2

受講料：3,000円（一般）、2,100円（70歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方）

定員：20名（事前申込先着順）

講師：纒方 真王（おがた まお）氏（俳文学会東京研究例会 運営委員）

内容：俳句は日本で生まれた短詩です。世界にも広がり、ユネスコの無形文化遺産への登録も目指されています。本講座では俳諧の芸術性を高めた芭蕉から蕪村、俳句の創始者子規へというその歴史を、作品とともにたどります。

第1回 芭蕉と弟子たち、蕪村が育った時代

第2回 蕪村と同時代、その後の俳人たち

第3回 俳句の創始者正岡子規、近現代俳句へ

申し込みは、生涯学習センターへ

電話（03 - 5813 - 3730）または直接窓口へ

### 2月「月例会」のご案内

2月の月例会は、次の通りです。

よろしくお祈りします。

日時 2月14日（水）午後3時半～5時

場所 生涯学習センター 5階 研修室3

テーマ「あだち区民大学塾」

運営マニュアル検討結果報告会

大学塾運営マニュアル検討委員会での

検討結果の報告と意見交換

皆様の積極的な参加をお待ちしています。

（ボランティア活動推進部）

## 楽学インフォメーション 会合のお知らせ

運営委員会

1月5日（金）午後3時～5時 研修室4

新年会

1月16日（火）午後6時～8時半 さくら

学習支援部

1月10日（水）午後2時～4時 ワークルーム

ボランティア活動推進部

1月9日（火）午後2時～4時 ワークルーム

広報部

1月9日（火）午後2時～4時 メール会議

1月23日（火）午後2時～4時 ワークルーム

1月25日（木）午後2時～4時 ワークルーム

事務局

1月9日（火）午後2時～4時 ワークルーム

大学塾講座検討会議

1月16日（火）午後4時～5時半 研修室4

大学塾講座企画会議

1月5日（金）午後1時半～3時 研修室4

生涯学習センター 休館日

1月15日（月）

### お問い合わせ＆ご意見等

「楽学の会」の運営に関するお問合せ

事務局 江川武男 電話：090-3105-8140

E-Mail：[takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp](mailto:takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp)

「ホームページ」に関するお問合せ

広報部 神戸 明 電話：03-3606-0058

E-Mail：[a-kambe@jcom.zaq.ne.jp](mailto:a-kambe@jcom.zaq.ne.jp)

### ホームページ・メルマガのご案内

ホームページおよびメルマガは、本年も毎月更新、発行し、楽学の会の活動状況を発信して行きます。会員みなさんからの情報の提供をお待ちします。また、ホームページ、メルマガのPRにご協力をお願いします。  
（HP/メルマガ担当）

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

皆様のご協力を得て、紙面の改善や課題を克服しながら何とか今日まで充実を図って参ることが出来ました。「言うは易く行うは難し」一定のレベルで完成しつつも、更に改善の余地を探りながら皆様と共に質の良い紙面づくりに邁進して参ります。ご期待のほど。よろしくお祈り致します。

（広報部）